

各位

上場会社名 株式会社 光陽社
 代表者 代表取締役社長 佐々木 孝
 (コード番号 7946)
 問合せ先責任者 広報室室長 西田道夫
 (TEL 06-6944-5000)

特別損失の発生及び業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせいたします。それに伴い、平成22年2月12日に公表いたしました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期業績予想数値と比較して、本日公表の実績値と差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,788	△125	△135	△260	△19.88
今回発表予想(B)	3,760	△140	△143	△369	△28.25
増減額(B-A)	△28	△15	△8	△109	
増減率(%)	△0.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,203	△244	△264	△561	△47.64

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,584	△111	△141	△252	△19.27
今回発表予想(B)	3,556	△126	△153	△365	△27.96
増減額(B-A)	△28	△15	△12	△113	
増減率(%)	△0.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,909	△249	△268	△565	△48.00

修正の理由

1. 特別損失の発生及びその理由

(1) 事業構造改善費用

平成22年3月23日に発表いたしました大阪地区から東京地区への生産設備の集約及び管理部門の一元化に伴い発生いたしました人員削減に要する費用40,223千円を特別損失に計上することとなりました。

(2) 減損損失

事業拠点別に資産をグループ化し減損の判定を行い、関西事業所の印刷設備の建物並びに機械及び装置等については、収益性の低下が生じ、減損の兆候が認められたため、当該資産の回収可能額まで減額し、減損損失65,134千円を特別損失に計上することとなりました。関西事業所の印刷設備の回収可能額は、使用価値をゼロとして評価しております。

差異が生じた理由

個別における通期業績実績につきましては、景気後退が一段と深刻化するなか、収益力の低下等による特別損失により、当期純損失が前回予想を大きく下回ることとなりました。なお、連結におきましては、主として個別の業績に対応するものであります。

以上